

神奈川の研究者紹介

氏名	佐藤 雅彦 (さとう まさひこ)	
現職	東京藝術大学 大学院映像研究科 メディア映像専攻 教授	
主な経歴	東京大学卒業後、株式会社電通を経て 1999年慶應義塾大学 環境情報学部教授。2006年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	専門は教育方法と表現方法。「どうしたら、それが伝わるか」をテーマに新しい表現手法を開発。また脳科学の知見を基とした表現の研究など。	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等)	<p>【著書】 「経済ってそういうことだったのか会議」(共著・日本経済新聞社)、「考えの整頓」(暮しの手帖社)、「差分」(美術出版社) 他。</p> <p>【ゲーム開発】 PlayStation ソフト「I.Q」。</p> <p>【企画 TV 番組】 「ピタゴラスイッチ」、「2355/0655」、「考えるカラス」。</p> <p>【CM】 サントリーモルツ「うまいんだな、これが」、トヨタ自動車「カローラIIにのって」、NEC「バザールでござーる」、湖池屋「スコーン」「ポリンキー」 他。</p> <p>【展示作品】 「計算の庭」(森美術館)、「佐藤雅彦研究室展」(ggg)「“これも自分と認めざるをえない”展」(21_21DESIGNSIGHT) 他。</p> <p>【主な受賞歴】 朝日広告賞最高賞、1991年クリエイター・オブ・ザ・イヤー、毎日デザイン賞、スロバキア・ドナウ賞、NHK日本賞総務大臣賞、ニューヨークADC賞金賞、2011年度日本数学会出版賞。平成23年度芸術選奨。平成25年度紫綬褒章、2014年度カンヌ国際映画祭短編部門正式招待、他。</p>	
神奈川県との関わり	横浜市受託事業「こどもためのシアター」(神奈川県在住・在学の高校生に対しての映像教育)の講師を平成26、27、28年度連続して担当。横浜美術館でのワークショップ。	
メッセージ	<p>【現在関心を持っている領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なメディア環境に於ける新しい教育デザインの研究と開発 ・新しいコミュニケーションデザインの手法の研究と開発 <p>【神奈川県との連携に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県下の高校や中学校と連携しての新しい理数教育の実践的研究と教育方法の開発 ・神奈川県下の地域との連携による映画製作 (Film commission) 	
連絡先	〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町4-44 東京藝術大学 大学院映像研究科 電話：050-5525-2677 (事務室)	

神奈川の研究者紹介

氏名	柳島 克己 (やなぎじま かつみ)	
現職	東京藝術大学 大学院映像研究科 映画専攻 教授	
主な経歴	東京写真専門学校修了後、三船プロダクション入社。その後フリーの撮影助手として活動。1986年カメラマンとして現在に至る。2010年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	映画撮影	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<p>【劇場映画】</p> <p>「あぶない刑事」「3-4x10月」「ソナチネ」「空がこんなに青いわけがない」「キッズ・リターン」「バトル・ロワイヤル」「GO」「座頭市」「ディア・ドクター」「ロボジー」「真夏の方程式」「アウトレイジ」「聖の青春」他 50 作品あり。</p>	
神奈川県との関わり	横浜市受託事業「こどもためのシアター」(神奈川県在住・在学の中학생に対しての映像教育)の講師を平成 28 年度担当予定。	
メッセージ	<p>【現在、関心をもっている領域】</p> <p>フィルムからデジタル～4K,8K 映像の対応</p> <p>【神奈川県との係に期待すること】</p> <p>神奈川県は撮影的に魅力ある場所が数多くあります。問題はやはり諸規制のハードルが高いことで、海外の撮影隊も手を引くのが現状です。それらが少しでも緩和される事を期待します。</p>	
連絡先	〒 231-0005 神奈川県横浜市中区本町 4-44 東京藝術大学 大学院映像研究科 電話：050-5525-2677 (事務室)	